

松本市・四賀地区における中山間地創蓄省エネルギー化モデル構想

～人口減少・高齢化が進む中山間地で住民主体のコミュニティ活動を通じて～

代表提案者

松本市

中山間地域のモデルとして、人口減少・高齢化の進展する地域においても、自立したエネルギーの創出や、交通のモビリティマネジメント、コンパクト化を通じて、四賀地区の住民が活力を持つ低炭素で持続可能な地域づくりを目指す。



四賀地区データ

- ・人口 4,935人
- ・世帯数 1,954
- ・高齢化率 37.9%
- ・面積 90.25km²
- ・町会数 27町会 (H26.10.1現在)

全体構想

まち

- ◆ 太陽光発電による創エネの地域利用と、売電収益の地域還元による地域活性化
- ◆ 木質バイオマス発酵熱による創エネの地域利用と、地域産業の活性化

交通

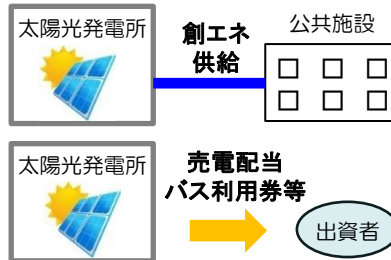
- ◆ バス利用意識の向上を図るモビリティマネジメントやバス利用促進のための環境整備、地域で支える公共交通のあり方検討により、省エネとバス利用拡大を実現

住まい

- ◆ 自然エネ利用のシェアハウス整備やコンパクト化の推進により、省エネ・低炭素化、観光滞在者や移住による転入者の拡大、持続可能な地域づくりを実現

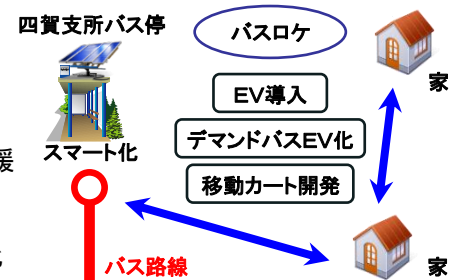
太陽光発電による創エネ

- ・ オフグリッド型の太陽光発電所を設立
 - 創エネを公共施設やEV充電施設等へ供給
 - 災害時は電力を独立電源として利用
- ・ オングリッド型の住民出資による市民協働発電所を設立
 - 創エネの売電によりバス利用券等を配当
 - 売電収益の地域還元による地域活性化
- ・ 地区住民の協力・参加による創エネ事業



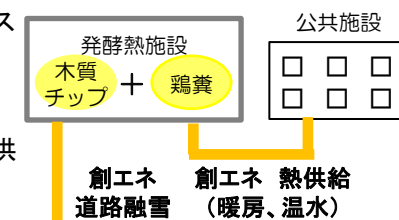
公共交通の利用促進による省エネ

- ・ モビリティマネジメントの実施
 - 地域で支える公共交通の仕組みづくり
 - セミナー等によるバス利用意識の醸成
- ・ まちづくりの取組みとの連携
 - 「コーディネーター」による調査と相談支援
- ・ 既存バス路線の住民目線での最適化
- ・ ドアtoドア、ドアtoバス停の移動手段の支援
- ・ 簡易型バスロケの構築、バス停のスマート化



木質バイオマス発酵熱による創エネ

- ・ 木質チップと鶏糞等を活用した木質バイオマス発酵熱施設の設立
 - 創エネを公共施設や道路融雪に利用
- ・ 木質バイオマス発酵熱の実証実験、実用化
- ・ 原材料の安定供給システム及び発酵熱エネ供給体制の構築
 - 地域産業の活性化、地域経済の循環
- ・ 地区住民の協力・参加による創エネ事業



住まいの省エネ・低炭素化

- ・ 自然エネ利用のシェアハウスの整備
 - 春・夏・秋季: 観光滞在者利用
 - 冬季: 地区の高齢者利用(生活支援付き)
 - 地区住民との相互交流による活力創出
- ・ コンパクト化の推進
 - 空き家、廃校校舎等の活用、施設の集積
 - 自然エネ利用のHEMS導入
 - 地区住民との協力・連携体制の構築

